

第 15 回 丹沢大山自然再生委員会（平成 27 年度総会）
議事録

日時： 平成 27 年 7 月 13 日（月） 13:30～16:00

場所： 中小企業共済会館 601 会議室

○事務局（厚沢課長）

それでは、定刻となりましたので第 15 回丹沢大山自然再生委員会を開催します。本日の資料につきましては、事前に郵送させておりましたが、本日お持ちでない方がいらっしゃいましたら、お近くの事務局員へお申し付け下さい。また資料は次第の裏面に一覧のとおりですが、資料の量が多くなっておりますので、確認は少略させていただきます。

では只今から、第 15 回丹沢大山自然再生委員会を開催させていただきます。ここからの議事進行につきましては、羽山委員長にお願いしたいと思います。よろしくをお願いします。

○羽山委員長

皆様こんにちは。本日は暑い中、ご多忙の中、丹沢大山再生委員会にご出席頂きましてありがとうございます。この委員会が平成 18 年 10 月 24 日に設立されまして、8 年半経過しております。当初は総合調査と、その結果を踏まえた政策提言で、丹沢大山の自然再生を進めるという運動体としてこの委員会を進めて来ましたが、日が経つにつれ、徐々に会議体になってまいりました。その反省から、2 年ほど前から委員会のあり方について、幹事会中心に検討させて頂きまして、昨年度はこの委員会でおはかりいたしまして、調査部会を新たに設置し、今年度は独自の調査も実施させて頂きました。この報告につきましては後半に専門部会から詳細にご報告頂きたいと思います。本日の委員会は定例会議となりますので、昨年度の事業実績、決算のご報告をしたいと思います。また今年度は役員の変更期になりますので、新しい役員を選出致します。その後新体制の委員長に引き継ぎまして、今年度の事業計画、予算についておはかりしたいと思います。できる限り委員会活動の報告に時間を使いたいと思いますので、前半の定例部分の進行につきましてはご協力をお願い致します。

【議案 1】 平成 26 年度事業実績・決算について

- ・平成 26 年度事業実績報告
- ・企業等からの寄付報告
- ・平成 26 年度決算及び監査報告

<事務局より資料 1、資料 2、資料 3 にもとづき説明>

○羽山委員長

杉山監事から決算、監査の結果報告をお願い致します。

○杉山監事（監査報告）

平成 27 年 5 月 30 日、丹沢大山自然再生委員会の監査を行いましたところ、収支決算が適正に処理されていることを確認しましたので報告します。

○羽山委員長

今のご報告に関しまして、どなたかご質問・ご意見ありましたらお願い致します。

<質疑応答>特になし。

○羽山委員長

それでは議案 1 「平成 26 年度事業実績・決算」について、承認をお願い致します。
ご異議なければ拍手をお願い致します。

○一同 拍手

○羽山委員長

本件は承認されました。寄付等のご協力をいただきました、ウエインズグループ様、サントリーホールディングス株式会社様、イベント来場者と個人の皆様、ありがとうございました。

【議案 2】 役員の改選について

○羽山委員長

現役員につきましては、本日配布しております役員名簿をご覧ください。委員会設置要項に規定されております通り、本年度は 2 年に 1 度の役員の改選年にあたります。役員について互選があればお願い致します。

○木平委員

現体制で本期を務めていただきましたが、新しい取組みも進められている事ですから、現役員の皆様に引き続きお願いしたいと思っております。

○羽山委員長

他にご意見がなければ、現役員で継続させて頂きたいと思えます。ご承認いただけるようでしたら、拍手をお願い致します。

○一同 拍手

○羽山委員長

本件にご承認いただきました。

【議案 3】 平成 27 年度事業計画・予算（案）について

- ・平成 27 年度事業計画（案）
- ・平成 27 年度収支予算（案）

<事務局より資料 4、資料 5、資料 6 にもとづき説明>

○羽山委員長

事業計画にあります活動報告会につきましては、詳細ついて後ほど改めてご意見を伺いたいと思えます。事業計画案と予算案について、何かご意見・ご質問等ありましたらお願い致します。

<質疑応答>特になし。

○羽山委員長

活動報告会を 12 月 23 日に日大の藤沢キャンパスで予定しておりましたが、ちょうどこの日が全館停電の日に当たるようで、場合によりましては、日程あるいは会場の変更があり得るので、あらかじめご承知おき下さい。

一つお詫びしなければなりません、実は今年の 3 月が正確には丹沢大山国定公園 50 周年に当たります。本来であれば昨年度中に記念事業を再生委員会としてやっておくべきだったのですが、今年が 50 周年ということで、なんとか今年中にイベントを活動報告会として行いたいと思っておりますので御了解ください。

もう一点、今月の 26 日に水源環境保全税に関するシンポジウムとワークショップが開催されます。この席で私から、再生委員会の活動と、県を中心に行ってきましたシカと森林管理関係の再生事業について、簡単ではありますが、ご報告させて頂くことになっておりますので、あわせて御了解いただければと思っております。

とくにご意見がなければ、昨年度この場ではご承認頂いておりませんでした調査部会の設置と合わせまして、27 年度事業計画及び予算につきまして、ご承認をお願いしたいと思います。よろしければ拍手をお願い致します。

○一同 拍手

○羽山委員長

それでは本件、ご承認頂きました。ありがとうございました。

【議案 4】 調査・研究助成金交付規定の改正について

<事務局より資料 7 にもとづき説明>

○羽山委員長

これは臨機応変に調査を行っていかうということと、なるべく再生委員会の構成員からご提案があったものをテーマとして取り上げていきたいということがありまして、この規定が加わったものであります。この件について何かご意見・ご質問等ありましたらお願い致します。

<質疑応答>特になし。

○羽山委員長

議案4「調査・研究助成金交付規定の改正について」ご承認をお願いしたいと思います。よろしければ拍手をお願い致します。

○一同 拍手

○羽山委員長

本件、ご承認いただきました。ありがとうございました。

報告事項を順次進めさせていただきたいと思います。各専門部会からの報告と、幾つかのところからはご提案があると思いますので、後ほどお諮りしたいと思います。では事業計画・評価専門部会の報告を勝山部会長からお願いします。

【報告事項1】専門部会の報告・提案について

ア 事業計画・評価専門部会

<勝山部会長より資料8-1にもとづき部会の活動内容を報告>

<自然環境保全センターより資料8-2他にもとづき丹沢大山自然再生計画の中間実施状況を報告>

<勝山部会長より資料8-3にもとづき事業計画・評価専門部会による丹沢大山自然再生計画中間点検の結果概要を報告>

○羽山委員長

ありがとうございました。部会からの報告についてご意見・ご質問等ありましたらお願い致します。

<質疑応答>特になし。

○勝山部会長

只今の中点検に関しましては、水源環境保全再生県民会議施策調査専門部会において結果の概要を報告させていただいております。また、7月26日の水源環境保全再生県民フォーラムでも委員長からの概要の報告をしていただく予定です。

○羽山委員長

丹沢大山自然再生計画というのは非常に大きな特徴があるのはご存じかもしれませんが、元々の生い立ちが再生委員会の前身である 10 年前の総合調査団から提言されたものを受けて、この再生計画が生まれました。神奈川県計画ではありますが、第三者である丹沢大山自然再生委員会が事業評価をして、適宜軌道修正を行っていくという形は、あまり例のない進め方ではないかと思えます。10 年ほど前は、調査団から提言を出して後は県にお任せという状況だったものが、この点検結果を受けて、再生委員会として登山道の整備や調査研究という県ができないところで、再生委員会のメンバーが加わって今でも活動を続けています。お互いを支え合うという県との協働事業というのが再生委員会と再生計画の基礎的なところだろうと思えます。

資料 8-3 にありますように、丹沢大山自然再生計画中間点検の結果を再生委員会としてご承認いただける方は拍手をお願い致します。

○一同 拍手

○羽山委員長

ありがとうございます。資料 8-3 に水源環境保全・再生施策との連携と書いてありますが、丹沢の歴史を考えますと、総合調査団はアマチュアからプロまで 500 人以上のメンバーが調査を行い、科学的なデータにもとづいて丹沢の再生事業を進めていったという背景があります。ただ、それからもうすぐ 10 年が経ちます。今まで 10 年ごとに行われてきた総合調査が丹沢に関わる若い世代を育ててきたという歴史があったのですが、このままだと高齢化に歯止めが留まらないということになります。次に丹沢の自然を見つめていく若い世代に引き継げないという危機感があります。そういう中で、水源環境保全・再生施策との連携には人づくりという意味も含めて提案させていただきたいと思えました。もう一点は、まだ道半ばではありますが、一定の自然再生の成果が出始めています。特にシカの管理では、顕著に成果が見えてきたと思っておりますが、この成果は丹沢では上手くいっていますが、水源環境保全施策は酒匂川相模川水系の 2000 平方キロという隣接県を含んだ主水域を対象にしている、そちらに丹沢のノウハウが生かされていない状況です。恐らくあと 10 年経てば、箱根のシカの方が丹沢より増えます。周囲の静岡、山梨でも爆発的に増えていくと考えられます。丹沢大山再生委員会の取組、再生計画の取組の成果を周囲に波及させていくというのも再生委員会としての大きな仕事ではないかと考えています。今後も引き続き、評価専門部会を中心として検討を継続させていただきたいと思っております。

続いて県民事業部会のご報告をお願いしたいと思います。

イ 県民事業専門部会

<久保部会長より資料 9-1~3 にもとづき部会の活動内容を報告>

○羽山委員長

ありがとうございました。部会からの報告についてご意見・ご質問等ありましたらお願い致します。

<質疑応答>特になし。

○羽山委員長

ご意見が無ければ、部会からの報告を終わらせていただきたいと思います。次に調査部会からの報告をお願いします。

ウ 調査専門部会

・平成26年度調査部会実施調査報告

<糸長部会長より資料8-1にもとづき部会全般の活動内容を報告>

<平成26年度 実施調査4項目について、石川氏、糸長氏、小野氏、三谷氏から結果報告>

○糸長部会長

ありがとうございました。只今の4つの調査報告へのご意見、今後の課題等についてもご指摘いただければと思います。

<質疑応答>

○四十八瀬自然村・小野様

山梨県ではシカ肉のジビエ料理の認定等がされている中で、神奈川県はシカ・イノシシの駆除が進んでいるということでしたが、正規に食品として市場に出せていません。正規に小規模でもジビエ食材として提供できる様に、確立させる必要性があるかと考えますがいかがでしょうか。

○伊勢原市 志村委員

伊勢原市ではシカ肉を地域の特産物として活用できないかと考え、地元の猟友会と協働で解体場を県内で初めて事業化を致しました。神奈川県内ではジビエの解体処理にかかる衛生管理の指針がありませんでした。それが一番大きなネックで、県の保健福祉事務所の指導を受けながら、食肉としての活用にはだいぶ苦労しましたが、ようやく施設として完成し、先日初めてシカ肉のジャーキーとソーセージを製品化致しました。量的には安定供給ができないのでまだまだ試験的な販売ですが、市内にある柏木牧場と組み、解体は猟友会の解体場で行い、加工場へ運び込んで製品化するというしくみを県内で初めて施行したところです。今後はレトルトカレー等にも製品の幅を広げていきたいと考えています。今までは地域の厄介者であったシカを特産物として活用できるよう、猟友会と協力して進めていきたいと考えております。

○糸長部会長

それ自体の運営は民間ということですか？

○伊勢原市 志村委員

そうです。

○糸長部会長

鳥獣被害の中で、最近の新聞で警備会社が罠を設置して見回りを始めているという記事がありました。異業種、違う業態との連携というのはテーマになると思うのですが、自治会レベルではどのような状況でしょうか？

○熊澤委員

確かに小田原では、アルソックが一般会社として参入して来ました。小田原の農協へお手伝いできる事がないかと申し入れをしているとのこと。農協では、そのような会社が入って来てしまっているのかなものか、ということではありましたが、小田原の猟友会の会員が既に手一杯ということだったので、銃器を使えない場所なら、という条件で設置をすることになりました。アルソックでは罠の設置の仕方、罠の改良をして、いかに効率よく捕獲できるかということの研究しているようです。ちなみに、「認定鳥獣捕獲事業者制度」が環境省から事業化されますので、私としましては神奈川県において、認可団体になりたいと思っております。昨日申請条件の上級救急講習を受講してきましたので、とりあえず30人の会員は申請が出来る段階になりました。

それから先ほどのジビエの話ですが、ジビエにつきましては再三色々な方面から問い合わせがありましたが、採算性に今ひとつ目途がたちません。先ほど伊勢原市の部長さんのお話にもありましてとおり、安定供給が保証できない状況です。しかし研究材料として、シカ肉をサラミにしたりしております。

三谷先生のお話でも、猟友会の将来のことも問いかけられているところがありましたが、若手の育成に何とか手を打ちたいということを決めましたので、理事会でまとめて、各大学に問いかけをし、募集をして、猟区へ導こうかと思っております。

○糸長部会長

ありがとうございました。学生が現場で鳥獣と向き合い、地元で生きていける様な学生を育てていく事が求められていると思いますので、大学連携も含めて推進できればと思います。

他になければ調査部会の質疑を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○羽山委員長

去年から具体的に幾つかの団体の方々から、助成金を元にした研究報告をいただきまして、大分突っ込んだ施策提言に繋がる様なご意見も出て参りましたので、今後も発展させていきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願い致します。

【報告事項2】平成26年度丹沢大山自然再生活動報告会結果報告

<羽山委員長より資料10、参考資料1にもとづき活動報告会結果を報告>

○羽山委員長

従来の報告会はどちらかと言いますと各地域の活動団体が報告をするというスタイルだったのですが、今回は、研究者、民間団体、行政等それぞれの立場でご発表いただいて、その結果を受けて参加者全員が議論に参加するという、再生委員会の原点に立ち返ると言う事を目標に進めてみました。このスタイルがベストというつもりはありませんが、今までにない形で活性化したな、と言う印象を持ってお

ります。

○久保部会長

今まで県民部会の活動報告会に参加させていただいておりましたが、今回別の観点から、県民部会、調査部会そして事業計画・評価部会がまとまって何かやろうということが新しい試みだったと思っております。それと同時に県民部会も、山に本当に携わっている人間が、お互いに意見を交換する、と言う事も必要だなと感じました。今回やったことに委員会活性化の方向があるのではないかと感じております。

○羽山委員長

ありがとうございました。

参加されていない方は、中々ご意見出しづらいかもしれませんが、報告会についてご意見・ご質問等あればよろしくお願い致します。

<質疑応答>特になし。

○羽山委員長

まだ試行段階ですが、基本的には議論の場を持ちながらそれぞれの活動団体の報告をいただくというスタイルで今年度も進めていきたいと思っております。しかし構成団体は非常に多岐にわたりますので、出来ればポスター展示や、様々な媒体を使って、再生委員会のメンバーが交流できる様な場づくりをしていきたいと考えておりますので、ご協力お願い致します。先ほど申し上げたとおり、今年度のテーマは丹沢大山国定公園が50周年を迎えますので、50年を振り返って、何か発信出来ないかと。出来れば次の50年に向かって、議論が出来る場に出来ないかと考えております。今年度も幹事会を中心に内容を検討させていただきますが、昨年度と同様に実行委員会方式で進めたいと思います。実行委員会に参加頂ける有志の方を募りたいと思っておりますので、是非ご参加をお願い致します。

【その他】

<事務局>特になし。

○羽山委員長

それでは議事終了とさせていただきます。本日はご参加ありがとうございました。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。

以上